平成25年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年6月13日

上場会社名　オーエス株式会社　　上場取引所　大
コード番号　9637　URL　http://www.osgroup.co.jp
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 山内芳樹
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長　(氏名) 矢崎秀成　TEL 06-6361-3554

四半期報告書提出予定日　平成24年6月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年1月期第1四半期の連結業績(平成24年2月1日～平成24年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年1月期第1四半期	1,660	△1.6	108	△10.6	61	△12.5	23	△46.3
24年1月期第1四半期	1,687	△8.5	121	△34.8	70	△44.6	43	△47.4

(注)包括利益　25年1月期第1四半期　33百万円　(0.2%)　24年1月期第1四半期　33百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年1月期第1四半期	1.46	―
24年1月期第1四半期	2.73	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年1月期第1四半期	30,105	8,227	27.3
24年1月期	30,025	8,234	27.4

(参考) 自己資本　25年1月期第1四半期　8,227百万円　24年1月期　8,234百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年1月期	―	2.50	―	2.50	5.00
25年1月期	―				
25年1月期(予想)		2.50	―	2.50	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年1月期の連結業績予想(平成24年2月1日～平成25年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,320	△6.5	170	△46.7	80	△64.1	25	△81.7	1.58
通期	8,260	19.0	700	27.8	520	49.7	290	8.8	18.29

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年1月期1Q	16,000,000 株	24年1月期	16,000,000 株
② 期末自己株式数	25年1月期1Q	146,296 株	24年1月期	145,246 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年1月期1Q	15,854,229 株	24年1月期1Q	15,856,395 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 ……3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……3
（４）追加情報 ……3
３．四半期連結財務諸表 ……4
（１）四半期連結貸借対照表 ……4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……6
四半期連結損益計算書 ……6
四半期連結包括利益計算書 ……7
（３）継続企業の前提に関する注記 ……8
（４）セグメント情報等 ……8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間（平成24年２月1日～平成24年４月30日）におけるわが国経済は、緩やかながらも持ち直しの傾向が見られましたが、欧州の債務危機による海外景気の下振れリスク等により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境のなかで、当社グループは、持続可能な成長戦略を実践するべく、各事業において収益力の強化を図り、事業領域の拡大に取り組んでまいりました。

当第１四半期連結累計期間の成績は、売上高1,660,511千円と前年同期に比べ27,392千円（1.6％）の減収となり、営業利益は108,759千円と前年同期に比べ12,854千円の減益、経常利益は61,984千円と前年同期に比べ8,873千円の減益、四半期純利益は23,211千円と前年同期に比べ20,006千円の減益となりました。

経営成績をセグメント別で見ると次のとおりであります。

（映画事業）

映画業界は、邦画・洋画ともに大ヒット作品には恵まれなかったものの、震災の影響で落ち込んだ昨年を上回る状況で推移しております。

このような状況のなか、映画興行事業におきましては、邦画作品では「ＡＬＷＡＹＳ 三丁目の夕日’６４」「ライアーゲーム －再生(リボーン)－」「僕等がいた　前篇」、洋画作品では「ＴＩＭＥ／タイム」「シャーロック・ホームズ　シャドウ ゲーム」「マーガレット・サッチャー　鉄の女の涙」などの話題作品を上映いたしました。

映画以外のコンテンツといたしましては、宝塚歌劇団の月組東京公演千秋楽「霧矢大夢ラストデイ」の生中継を「ＯＳシネマズミント神戸」にて実施し、収益力の強化を図ってまいりました。

また、社会貢献活動といたしまして、「阪急阪神　未来のゆめ・まちプロジェクト」に参画し、特別上映会の実施を通じて、「心豊かな地域文化の確立」に取り組んでまいりました。

売上高は551,688千円と前年同期に比べ17,758千円（3.3％）の増収となり、セグメント利益（営業利益）は20,986千円（前年同期は12,702千円の営業損失）となりました。

（不動産賃貸・販売事業）

不動産賃貸業界は、東京・大阪ビジネス地区ともに空室率が高止まりで推移し、賃料相場は依然として弱含みの厳しい状況が継続しております。

このような状況のなか、不動産賃貸事業におきましては、当第１四半期連結累計期間末における保有ビルの稼働率は98.2％と高稼働を維持したものの、賃料水準につきましては、業界と同様に厳しい状況で推移いたしました。

不動産販売事業におきましては、分譲マンションの売上を計上しております。

大阪府守口市にて本年12月に竣工予定の分譲マンション「プレージア大日」につきましては、２月より販売を開始いたしました。

また、本年２月に新たな分譲マンション用地を取得し、事業化に向けて鋭意取り組んでおります。

売上高は754,061千円と前年同期に比べ26,505千円（3.4％）の減収となり、セグメント利益（営業利益）は237,631千円と前年同期に比べ62,275千円の減益となりました。

（ホテル事業）

大阪のホテル業界は、国内旅行やビジネス利用の宿泊需要を中心に、回復基調で推移いたしました。

「梅田ＯＳホテル」におきましては、最上階客室のベッド及び内装のリニューアルを実施し、また、インターネット宿泊サイトにおいてトリプルルームの販売を開始するなど、多様な宿泊ニーズを取り込むことにより、客室販売の増加に努めてまいりました。

売上高は157,008千円と前年同期に比べ4,401千円（2.9％）の増収となりましたが、セグメント利益（営業利益）は16,070千円とほぼ前年同期並みとなりました。

(飲食事業)

飲食業界は、消費者の節約志向が依然根強く、厳しい事業環境が継続しております。

このような状況のなか、飲食事業におきましては、既存店舗の業態変更等を行い、収益基盤の強化に取り組んでまいりました。

売上高は77,857千円と前年同期に比べ4,735千円（5.7%）の減収となりましたが、セグメント利益（営業利益）は2,277千円（前年同期は2,760千円の営業損失）となりました。

(その他事業)

その他事業におきましては、アミューズメント施設の「ナムコランド三宮店」が、個人消費の伸び悩みに加え、スマートフォンの普及によるゲームの多様化の影響を受け、厳しい状況となりました。

売上高は119,895千円と前年同期に比べ18,310千円（13.2%）の減収となりましたが、諸経費の削減により、セグメント利益（営業利益）は17,832千円と前年同期に比べ347千円とわずかに増益となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、前連結会計年度末と比較して総資産は79,790千円の増加となりました。これは主に現金及び預金560,329千円及び有形固定資産157,759千円の減少がありましたが、販売用不動産715,472千円、前払費用39,743千円及び売掛金24,423千円の増加によるものであります。

負債につきましては86,684千円の増加となりました。これは主に長期借入金78,982千円の増加によるものであります。

純資産につきましては6,893千円の減少となりました。これは主にその他有価証券評価差額金9,951千円の増加がありましたが、利益剰余金16,425千円の減少によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年1月期の連結業績予想につきましては、平成24年３月16日の決算短信で発表しました業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年１月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年４月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,247,534	687,205
売掛金	192,145	216,569
販売用不動産	875,073	1,590,546
商品	6,889	9,583
貯蔵品	1,062	1,489
前払費用	83,759	123,503
繰延税金資産	41,745	53,826
その他	27,116	30,010
貸倒引当金	△5,299	△5,356
流動資産合計	2,470,028	2,707,378
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,788,665	22,763,442
減価償却累計額	△12,131,994	△12,240,097
建物及び構築物（純額）	10,656,671	10,523,345
機械装置及び運搬具	352,745	334,659
減価償却累計額	△186,229	△184,920
機械装置及び運搬具（純額）	166,516	149,739
工具、器具及び備品	767,627	752,136
減価償却累計額	△637,741	△629,907
工具、器具及び備品（純額）	129,886	122,229
土地	15,073,710	15,073,710
有形固定資産合計	26,026,783	25,869,023
無形固定資産		
ソフトウエア	47,332	47,669
その他	11,415	11,274
無形固定資産合計	58,747	58,943
投資その他の資産		
投資有価証券	278,948	293,986
長期前払費用	207,975	194,369
差入保証金	510,780	510,780
建設協力金	407,096	409,089
繰延税金資産	12,410	11,250
その他	26,303	25,793
投資その他の資産合計	1,443,514	1,445,269
固定資産合計	27,529,046	27,373,236
繰延資産		
社債発行費	26,424	24,674
繰延資産合計	26,424	24,674
資産合計	30,025,499	30,105,289

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年１月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年４月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	116,774	150,560
短期借入金	2,655,055	2,643,952
未払金	62,475	56,151
未払費用	263,202	249,975
未払法人税等	11,195	26,847
未払消費税等	57,592	37,005
賞与引当金	39,824	92,442
その他	374,614	291,932
流動負債合計	3,580,733	3,548,867
固定負債		
社債	1,700,000	1,700,000
長期借入金	10,292,668	10,371,650
長期預り保証金	2,236,352	2,292,102
繰延税金負債	1,365,950	1,375,129
再評価に係る繰延税金負債	2,420,920	2,420,920
退職給付引当金	194,734	169,374
固定負債合計	18,210,626	18,329,177
負債合計	21,791,360	21,878,044
純資産の部		
株主資本		
資本金	800,000	800,000
資本剰余金	66,506	66,506
利益剰余金	4,067,586	4,051,160
自己株式	△91,138	△91,558
株主資本合計	4,842,954	4,826,108
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,700	26,651
土地再評価差額金	3,374,484	3,374,484
その他の包括利益累計額合計	3,391,184	3,401,136
純資産合計	8,234,138	8,227,244
負債純資産合計	30,025,499	30,105,289

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成23年２月１日 至 平成23年４月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成24年２月１日 至 平成24年４月30日）
売上高	1,687,903	1,660,511
売上原価	1,336,300	1,332,593
売上総利益	351,602	327,917
一般管理費	229,989	219,158
営業利益	121,613	108,759
営業外収益		
受取利息	2,089	2,109
その他	163	592
営業外収益合計	2,253	2,701
営業外費用		
支払利息	48,618	44,653
その他	4,390	4,823
営業外費用合計	53,009	49,476
経常利益	70,858	61,984
特別損失		
固定資産除却損	－	21,767
特別損失合計	－	21,767
税金等調整前四半期純利益	70,858	40,216
法人税、住民税及び事業税	34,352	24,284
法人税等調整額	△6,712	△7,278
法人税等合計	27,640	17,005
少数株主損益調整前四半期純利益	43,217	23,211
四半期純利益	43,217	23,211

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成23年２月１日 至 平成23年４月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成24年２月１日 至 平成24年４月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	43,217	23,211
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,108	9,951
その他の包括利益合計	△10,108	9,951
四半期包括利益	33,109	33,162
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,109	33,162
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間(自 平成23年２月１日 至 平成23年４月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	映画事業	不動産賃貸・販売事業	ホテル事業	飲食事業	その他事業	計	調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額(注２)
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	533,929	780,567	152,607	82,593	138,206	1,687,903	―	1,687,903
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	―	40,553	―	―	―	40,553	△40,553	―
計	533,929	821,120	152,607	82,593	138,206	1,728,457	△40,553	1,687,903
セグメント利益又は損失(△)	△12,702	299,907	16,029	△2,760	17,484	317,957	△196,343	121,613

（注）１．セグメント利益又は損失(△)の調整額△196,343千円には、セグメント間取引消去△282千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△196,060千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間(自 平成24年２月１日 至 平成24年４月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	映画事業	不動産賃貸・販売事業	ホテル事業	飲食事業	その他事業	計	調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額(注２)
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	551,688	754,061	157,008	77,857	119,895	1,660,511	―	1,660,511
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	―	52,629	―	―	―	52,629	△52,629	―
計	551,688	806,690	157,008	77,857	119,895	1,713,140	△52,629	1,660,511
セグメント利益	20,986	237,631	16,070	2,277	17,832	294,798	△186,039	108,759

（注）１．セグメント利益の調整額△186,039千円には、セグメント間取引消去△636千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△185,402千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．当第１四半期連結会計期間より、従来の「映画興行事業」から「映画事業」へとセグメントの名称を変更しております。なお、当該変更はセグメントの名称変更のみであり、事業区分の方法に変更はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。